

さあ、Scienceの帆を上げよう!! は、全校生徒に募集しその中から選ばれたSSHのキャッチコピーです。本校校歌にある「徳の帆を上げ知恵の舵」に由来するものです。

SSH活動報告

“生徒の声”特集!!

スーパースcienceハイスクール生徒研究発表会

8月6.7日 パシフィコ横浜国立ホール

3年4組 菅野 萌子さん

私は「千曲川の礫について」という研究を発表してきました。北高に身近な千曲川。この発表会でたくさんの地学の専門家の方や理数系の様々な研究に出会い、吸収できたことは、わたしにとって大切な経験となりました。これからも経験を生かし、研究を続けたいと思っています。



夏休みわくわくサイエンス

8月18日(月) 飯山市公民館

2年4組 伊東 丈くん

普段は人前で発表することがほとんど無いので、とても緊張しましたが、小学生に化学の楽しさをしっかり教えられたと思います。“人に教える”と言うことは難しかったけど、実験を教えることも、一緒に作ることもとても楽しかったので、機会があれば、またやりたいです。



第6回マス・フェスタ

8月23日(土) える・おおさか

3年4組 池田 健人くん

“数学”といっても、大きく分けて純粋数学と応用数学とあり、数学の幅の広さ、重要さを改めて感じました。また、他県の高校生たちと数学を通じて交流することで、数学の面白さや全国の高校生の考えを知り、刺激を受けることができて、とても良い経験になりました。



SSHフェスティバル in 飯北

大阪大学大学院 人間科学研究科教授 金澤 忠博先生 講演会

演題 サルの“こころ” ヒトの“心”

9月12日(金)かまくらホールにて、本校OBである金澤 忠博先生をお迎えし、SSH講演会が行われました。全校生徒・職員、保護者ならびに一般の方が参加しお話を聞くことができました。比較発達心理学の分野で、サルとヒトの心を比較する中でわかってきた、“人の心”の奥深さや素晴らしさを教えていただきました。特に、私たちが日常で行っている、「ちゃんはどう思うかな?」とか「くんはきっとこうするだろう」など、相手の気持ちを読むことや、他者の立場になって考えることができるのは、ヒトだけ。私たちにとってはあたりまえのことですが、そんな心をもっている「ヒト」とは特別のように感じられました。しかし、心の発達には「母の愛情」が必要であるということも同時に教えて頂きました。このような“心の発達”の研究が更に進むことで、発達障害である自閉症の症状を改善できる日もそう遠くはないようです。「自分の心」や「相手の心」を思い、大切にすることは、人だからこそできるものだと、改めて感じられた貴重な講演会でした。



写真：講演される金澤忠博先生

生徒の感想

- ・私達が当たり前に行っていることって、とてもすごいことなんだなあと思った。サルは子どもなどの「死」をわからないことに驚いた!!
- ・人に白目があってサルに白目がない理由は驚いた。目は口程に物を言う!

ご意見・ご要望はこちらへ

〒389-2253 長野県飯山市大字飯山 2610 番地
TEL 0269(62)4175 FAX 0269(81)1072
URL <http://www.nagano-c.ed.jp/iikita/>
E-mail iikita@nagano-c.ed.jp